

専門研修「障害者地域支援」

【実施日】	11月27日(月)～28日(火)
【受講決定者数】	58名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none">・災害は誰にも等しく訪れ、普段通りの業務を行えないという事を改めて学び、そのために一人一人が自分の身を自分で守れるような計画、訓練、見直しを続けていくことが大事なのだなと感じました。・高齢化、サービスの切れ目の問題は常に聞かれる話で、その実態や法律の部分などが曖昧になっていた部分もあったため、改めて障がいサービスを守るための介護保険サービスへの移行、ということを知り、とても勉強になりました。・医療的ケアの支援について、実際に見たことがなかったため、演習を行い、食べる一つとっても、身体の構造を考え、相手に不快のない支援の重要性を感じました。・親なきあとと聞くとまず成年後見制度が頭に浮かびましたが、確かにハードルが高く勧めても利用に繋がらないことが多かったため、今回の講義で遺言や信託という方法があること、また、社会と繋がっておくことが何より大切であることを知り、今後ご家族から相談を受けた際に活かしていきたいと思いました。・虐待の起こる背景や通報義務、行政の責務など、虐待対応の基礎を学ぶことができました。・地域にある社会資源やピアサポーターを活用した方法、都のバッグサポートを学ぶことができました。本人と地域の支援者が一丸となってチームで支えられる仕組みを使い、業務にあたりたいと思います。